



東北大学



東北メディカル・メガバンク機構
TOHOKU MEDICAL MEGABANK ORGANIZATION

平成 25 年 10 月 31 日

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
地域支援気仙沼センター「けんこうスクエア」開所式・内覧会
—最新の検査機器による健康調査を開始—

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構は、健康調査の拠点とするため、最新の検査機器を配置して地域支援気仙沼センター「けんこうスクエア」を平成 25 年 10 月 31 日（木）に開所します。このたび開所式を行い、地域の方々に向けて内覧会を開催します。

地域支援気仙沼センター「けんこうスクエア」では、気仙沼副市長や、元プロボクサーで気仙沼市立本吉病院院長の川島実医師をはじめ地域の関係者をお招きして開所式と内覧会を行い、続いて地域住民に向けた内覧会と健康調査の予約会を行います。昨年 12 月に開所した地域支援気仙沼センターに加えて、新たに本「けんこうスクエア」を開設することで、最新の検査機器を多数導入して多くの調査項目を受診可能な形で長期健康調査（地域住民コホート調査）に参加することが気仙沼地域においても実現します。調査の先行登録は 10 月 8 日より受け付けをはじめ、300 人以上の方からお申し出をいただきました。

本「けんこうスクエア」で受けられる検査からは、血管年齢 / 動脈硬化（頸動脈エコー / 中心血圧）、肺年齢（呼吸機能検査）などがわかります。これらの項目は一人ひとりに結果をお知らせします。

地域支援気仙沼センターは気仙沼市・南三陸町並びに近隣住民の皆様の健康支援・健康調査活動の拠点です。具体的には、1) 医療者の確保・育成、地域医療の再建、2) 保健医療サービスの普及、3) 健康調査・健康に関する支援、4) 健康に関する最先端の研究と次世代医療の実現を行っていきます。

当機構は、東日本大震災からの医療復興と次世代型医療の基盤構築のため昨年 2 月 1 日に設立され、成人や妊婦など幅広い年齢層を対象とした前向き健康調査（コホート研究）等の事業を行います。本「けんこうスクエア」は特に健康調査の拠点となり、地域支援気仙沼センターと共に住民の方々の健康増進を支援し、医療復興に貢献することを目指して活動に取り組んでいきます。

設置する主な機器：

中心血圧計、脚伸展力測定装置、超音波診断装置（頸動脈）、総合呼吸抵抗測定装置、光干渉式眼軸長測定装置、非接触眼圧計装置、ボディコンポジションアナライザーなど

【参考】

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

<http://www.megabank.tohoku.ac.jp/>

(お問い合わせ先)

(報道担当)

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

長神 風二 (ながみ ふうじ)

影山麻衣子 (かげやま まいこ)

電話番号： 022-717-7908

ファックス： 022-717-7923

Eメール： f-nagami@med.tohoku.ac.jp